大型フェリーとタンカーが衝突

平成２２年１１月１５日午後１０時３２分頃、来島海峡海上交通センターから今治海上保安部へ「今治市小島北東約 600 メートルの来島海峡航路内で、フェリーとタンカーが衝突した」との通報がありました。

巡視艇いよなみ、巡視艇いまかぜが出動し、調査を行ったところ、北九州市新門司港から大阪南港へ向かっていた「フェリーきたきゅうしゅう」（総トン数 9,476 トン・乗客 127 名）と、山口県宇部港から愛媛県新居浜港へ向かっていた「タンカー第七十八光輝丸（こうきまる）」（総トン数 1,159 トン）が、来島海峡航路を航行中に衝突したことが判明しました。

この事故による人命の異常はなく、船体への浸水及び油の流出もありませんでした。

【写真：フェリーきたきゅうしゅう】

【写真：タンカー第七十八光輝丸】